

●玉水浜 通路整備 7月31日 15:00から4人 猛暑の中草刈りを実施



●奈良女子大学生来所 8月1日(木)

朝に木津川で水生生物の研究をされている教授片野泉さんと学生4名が来られました。玉水浜・中聖牛辺りに設置されている測定器を、台風シーズン前に撤去しておくこと、現場での視察研究のために来所されました。里山の会は連絡をうけて通路の雑草の繁茂が激しく大変なヤブコギをしなければならないので、急遽除草作業を前日の31日(水)の15:30分から作業を行って、通行が可能になるように協力をしました。春にカラシナを刈り取りましたが、写真のようにすごく繁茂していました。真夏の猛暑の中大変な作業ご苦労様でした。若い皆さんの研究に役立つ事が出来ればとの思いでご協力をしていただきました。



●テンセグリティ きょうと多様性センター

6月初めに、センターから竹棒の注文があって、梅雨明けと同時の猛暑続きの中作業を展開しました。竹サインペンから竹棒になりましたので、竹の割り方の変更工夫に苦労をしました。出来るだけ手ざわりを良くするための研磨装置が決め手でした。予想しないトラブルの連続でしたが、皆さんの対応で乗り越えられ、納期1日前の6月30日に無事お渡しする事が出来ました。面白い取組になって集まってきた子どもたちもきっと印象深いおもちゃに親しんでくれるのではないかと期待しています。厳しい所で製作に取り組んでいただいた森島さん、有田さん、播川さん、そして木下様。大変お世話になりました。皆さんは竹サインペンの工夫にも知恵をいただいています。

テンセグリティ工作で学ぶ生物多様性

作り方

材料
両端に切れ込みが入った棒（ストローでも代用可）、輪ゴム6本、お好みでマジックやシールなど

作り方

- ①それぞれの棒に輪ゴムをかけます。
- ②写真のように2本の棒をもちます。
- ③写真のように3本目の棒をひっかけます。
- ④反対側も同じように4本目をひっかけます。
- ⑤写真のように5本目の棒を入れてひっかけます。
- ⑥下側に6本目の棒をひっかけます。
- ⑦写真のようにもちかえます。
- ⑧⑤、⑥でひっつけた棒の輪ゴムを、それぞれ②の棒にひっかけます。
- ⑨棒のはじめマジックでぬったり、生きもののシールをはって完成!

きょうと生物多様性センター

竹の棒はどうやってつくられた?

NPO法人 やましろ里山の会のみなさまにつくっていただきました。

この竹の棒は、今年今夏の製作で使用している竹の棒は、NPO法人 やましろ里山の会で作っている竹サインペンの作り方を応用して作られました。竹を利用することで、プラスチックごみの削減や、竹林の過剰な伐採を防ぐことにつながります。

製作風景

暑い中でしたが、がんばりました!

NPO法人 やましろ里山の会
所在地：京田辺市田辺深田15
お問合せ：0774-64-4183

きょうと生物多様性センター

●第27回環境講演会案内 9月14日

里山の会では多様な人々が集まってくださっています。集中して事業に取り組もうとすると困難が生れますので、多くの先生たちからお話やヒントを得るための開催を行ってきました。今回は淡水魚の専門家である細谷先生にお世話になる事が出来ました。魚とりなどには取り組んできましたが、知識にはほど遠い内容でしたので、この辺りで淡水魚の現状と暮らしの変化などに関わってお話をいただけます。魚とりや釣りから少し深められる場面としてご参加をお願いいたします。会場を広く取ろうと頑張りましたが、60人程度の会場しかご用意出来ずメール申込制度とさせていただきます。8月1日から参加申し込み受付を開始していますので、早めに申し込みをお願いします。

●カヌー体験教室の開催予告

笠置浜でカヌー体験教室を開催してきましたが公募すると、わずか4日程度で埋まってしまう人気の取組ですので、今年は予告することにいたしました。借用ボート数が親子二人艇が5隻と一人乗りが25艇となっております。開催日は9月16日(月)敬老の日・祝日 9:30 集合で開催致します。

会誌57号原稿募集

会誌の里山の会創刊号を取り組がされた時、多くの皆さんから無理をするな、無理をしても2・3号で腰折れになってしまいますよ、と厳しい声がありました。会の活動の主人公は会員である。そして全員が参加するイベントなどは強制しては継続出来ない。しかしこうした活動を行ったという報告はきちんと伝えなければならない。と考えて発足間もない困難一杯の結成当時1000円であった会費を2000円に改定し、1000円は会誌発行の経費と決定されて、今日57号の編成に取り組んでいます。里山の会が掲げた「自然を大切にす仲間を大きくする」スローガンと共に会誌里山の自然」が果たしてきた記録は凄い力になっています。計画した目的にはほど遠いものだと思いますが、発行への協力体制が築かれ維持されてきたことは立派であります。間もなく結成30周年記念の年を迎えることとなりますが、これを機会にぜひ多くの会員の皆さんがご寄稿をお寄せいただきますようお願いいたします。



●理事会開催日 8月30日(金)

2024年度第2回理事会は8月30日(金)の午後1時から京田辺市中央公民館で開催致します。理事の皆さんは万障繰り合わせご出席をお願いいたします。総会に続く重要な会議ですので欠席なきようお願いいたします。

結成30周年記念事業の展開や準備、そして次年度役員体制の見通しとその対策、イタセンパラ復活への取組やヤマトサンショウウオの調査報告書の取りまとめ、何よりも後継者育成等課題は山積みです。会員各位のご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。今年取り組み始めたワークショップ・サークルづくりについての中間成果と評価などについて理事各位のご意見の準備をお願いいたします。

第27回環境講演会 参加案内

京都の淡水魚はどうなっているのかな

ひと昔前には、雨が降って木津川の水位が上がると多くの魚が小川や田圃に昇ってきました。一昔前には野原の小川でメダカは田圃でいくらかでも見られました。それがレッドデータに掲載され保護される時代になりました。人間の食事も暮らし方も大きく変化しています。川は危険だといって子どもたちは近づかなくなって自然に接する機会が遠くなりました。こうした時、身近なきょうとの魚たち(アユやメダカ・コイやフナ、ドンコ)はどうなっているのでしょうか。改めて地元魚の現状をお聞きする機会(細谷和海先生)をもうけましたのでふるってご参加をお願いいたします。

2024年9月14日(土) 13:00~16:00
京田辺市社会福祉センター

演題 『きょうとの淡水魚はどうなっているのかな』

講師 近畿大学名誉教授 細谷和海 先生

参加費 無料

参加申し込み	60人
受付開始	8月1日から開始 定数になり次第締め切り
申込先	fdlbw257@yahoo.co.jp
記載内容	1氏名 2住所 3参加方法(自家用車・徒歩等) 4電話番号 5メールアドレス

主催 特定非営利活動法人やましろ里山の会 事務所:京田辺市田辺深田15 0774-64-4183
後援 (申請中) 京都府生物多様性センター 京都府自然環境課 京田辺市
京都府教育委員会 京都府市町村協議会 琵琶湖淀川流域圏交流会

●カワウの羽休め

朝、農作業の帰り道にふと木津川の浜を見るとカワウが休憩していました。夜が明ける6時ごろに川幅一杯に並んで下流から登ってきます。前日撮った場所から上流に登ってゆきます。3年ほど見なくなっていたのにまた来ていました。いい写真ありがとう（撮影：大釜氏）



農園部会だより
草刈り・夏野菜の収穫

8月3日(土)9時30分から里山農園にて今日も暑い日差しでした。みんな熱中症に気を付け、十分に水分補給しながら作業を実施しました。森島副理事長による作業予定と注意事項にはじまり6名で作業を行いました。今週も1号地と丸山の通路を中心に、みんなで手分けして草刈り・集草を実施しました。ナス、ピーマン、オクラ、万願寺にはカメムシが発生しています。木酢液で害虫駆除ができるか分かりませんが、試してみました。本当に暑い最中の作業をありがとうございました。



●全国的にカメムシ大発生 林に隣接した農園で被害大きい 夕方に行動する性格

温暖化の影響か里山農園ではあまり見られなかった環境でした。昨年夏の異常な高温の連続、降雨時期の回数減少、そして梅雨明けと同時の昨年以上の高温続きと天候異変が影響しているのではないのでしょうか。木酢液による殺虫効果はあるのでしょうか。南五晴さんが言っておられたのは500倍に薄めて使用しなさいとのことでした。

木酢液(もくさくえき)

カメムシが嫌う匂いの1つが木酢液(もくさくえき)とされています。木酢液は昔は農薬でしたが、現在は農薬取締法によって農薬として販売されておらず「農薬的な使用ができるもの」として売られています。薬効が認められていない点に注意が必要です。小瓶に少量入れて作物の近くに置くか、100倍程度に薄めたものを農作物の周りに散布して使います。

●里山施設案内 オープンキャンパス 近畿大学 農学部奈良キャンパス 9月7日(土)

10時～15時のプログラムです。桜谷保之元近畿大学教授が案内役をしていただきます。校内の諸施設や設備を見学できる機会はなかなかありませんので、ぜひご活用下さい。里山の会では昆虫観察など施設としては学びとれるものが沢山あると期待しています。先日、直接先生からご指導を受けられて、次に現物を見るということは大変有意義な場面になるかと思っておりますので、こぞってご参加くださることをお願いします。

●講習会「クビアカツヤカミキリから京都の桜を守れ！」

8月19日(月)さくらであい館で講習会が開かれます。桜梅李(スモモ)などバラ科の樹木を食い荒らす被害が出ており、京田辺市や山城地域から情報提供が増えています。



詳細と申し込みは
コチラから

